

かがわビジネスモデル・ チャレンジコンペ2011

かがわ発!先進的 ビジネスモデル2011

発表会&表彰式

日時 平成24年2月9日(木) 13:30~18:00

場所 サンメッセホール大会議室 (サンメッセ香川2階)

プログラム

13:30~13:45 開会

13:45~15:30 「かがわビジネスモデル・
チャレンジコンペ2011」
プレゼンテーション

15:45~16:26 「かがわ発!先進的ビジネスモデル2011」
表彰式・発表会

16:26~16:45 審査結果発表・表彰式

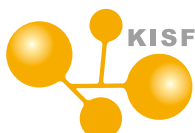
17:00~18:00 交流会

【主催】公益財団法人かがわ産業支援財団

【後援】香川県、香川大学、高松大学、徳島文理大学、四国学院大学、香川高等専門学校、
株式会社日本政策金融公庫高松支店、株式会社商工組合中央金庫高松支店、
株式会社百十四銀行、株式会社香川銀行、高松信用金庫、
観音寺信用金庫、香川県信用組合、四国新聞社、NHK高松放送局、
RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送



お問い合わせ



公益財団法人

かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

総務部企画情報課 Tel.087-868-9901

〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F

かがわビジネスモデル

検索

<http://www.kagawa-isf.jp/>

◀ 発表内容 ▶

かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2011 発表プラン (申請者名:50音順)

◆100年の古民家で食べるきらたま丼と府中カレーの店 輝卵鈴(きらりん) / (株)あったらいいな

現在、香川県は空き家率16%、増え続ける古民家・空き家を住居ではなく、人が集まる場所として活用する。初期投資は100万円以内におさえ、広告宣伝費をほとんどかけず口コミとネットを有効活用した結果、低コストでいい物を提供できるようになった。開業後、8ヶ月で延べ2万人以上のお客さんが来店した。1日4時間の営業時間で、新しく5人の雇用が生まれ、初期投資を抑えることで経営が安定し、新商品販路の拡大が可能となった。

◆オリーブ炭の生産と販売 / 国宗耕二

オリーブの幹は非常に堅く樫の木に似た堅さを持っていることに着目し、オリーブの幹・枝を使用した「オリーブ炭」(商標登録済み)として商品化した。高級炭として知られる「備長炭」と機能評価比較を実施したところ、備長炭と同等の比表面積(炭内部の小さな無数の孔を広げた1gあたりの面積)を持っており消臭効果や調湿材として期待できるのみならず、その燃焼カロリーも備長炭と同等の結果が出ている。「オリーブ炭」により地元オリーブの廃材を有効活用し、新たな香川県の特産品を開発する。

◆日本蜜蜂の養蜂集積地を創生する / 小島保男

香川県の山野に生息する日本蜜蜂を捕獲・養蜂する会社を創業し、経営と併せ県内ネットワークを作り、蜜蜂と人間が心豊かに共生できる環境作りにも挑戦する。日本蜜蜂は採蜜効率が悪く企業経営として取組むところは少ないが、その味は日本人好みの自然味に溢れている。当プランにより瀬戸内の温暖な気候を利用して組織的に養蜂を行い和蜜の生産集積地の創生を目指す。蜜蜂から心に癒しを受け、高齢者が元気に暮らす理想郷を作りたい。

◆高松ファーマーズマーケットによる地域経済循環モデルの確立 / 高松丸亀街TCM(株)

少子高齢化、人口減の時代の変化に対応する町を再生するためには、権利者の意識を変え、人の住む町への変化が必要不可欠である。「権利者が自らの手で作り上げる」をコンセプトに町のデザインからスキームまでを組み立てた。土地の所有権と使用权を明確に分離し、まちづくり会社によるエリアマネジメントを導入した。居住空間を整備することで居住人口を増加させ、商業部分の新陳代謝を促すことで町全体の活性化を実現した。

◆エコアートプロジェクト / hacomo(株)

エコアートプロジェクトとは、エコとアート、モノづくりをセットにしたイベントを開催し、素材には身近なエコ素材でもあるダンボールを使用する。親子で参加してもらい、そこからコミュニケーションが生まれ、さらに子供たちの創造性を育むことを目的とする。窓口はアートに関心のある全国の美術館、博物館など。全国各地でイベントを開催することでhacomoのアピールに繋がり、物販の売上UPも可能となる。

◆瀬戸内アイス事業 / (株)平井料理システム

瀬戸内、特に香川県の牛乳や果物、野菜だけを使用して製造したアイスクリーム、シャーベットを全国に販売するビジネスモデル。気候の温暖な香川県にはモモやみかんなど豊富な果物や野菜が数多くある。この農家の宝物を使って、障害者の方々の雇用も行いながらアイスクリーム、シャーベットを製造する。瀬戸内国際芸術祭等々で世界的に有名になった「瀬戸内」という名称を会社名にすることで、全国のお客さんにも安心して買っていただける商品として仕上げる。

◆情報端末を活用したデジタルサイネージサービス『見守り隊』 / (株)ミヤプロ

高齢者世帯、独居老人世帯、被災地、仮設住宅、またはマンションなど集合住宅において、住民の情報入手手段である『回覧板・掲示板』や『防災行政無線の戸別受信機』の持つ役割を、タッチパネル端末(タブレット型・据置型)を利用した情報受信システムに集約し、さらに情報の双方向性を持たせた『お知らせ機能』『見守りサービス』『ネットスーパー』など、安心・安全かつ高齢者にやさしいサービスとして提供する。

かがわ発!先進的ビジネスモデル2011 受賞者

◆【大賞】地産循環再利用型レストラン、物販経営 / (株)平井料理システム

店舗から出る食べ残しや各種廃棄物を分別し、食べ残しについては地元の牧場等に持ち込み堆肥化したり、エコフィードにする。その堆肥を近隣の農家の田んぼにまき、そこで収穫した野菜や果物、豚肉、牛肉などを直接仕入れて物販事業の店舗で販売したり、レストランで提供したりする「地産循環再利用」の仕組みを構築した。

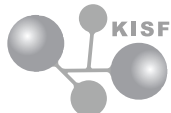
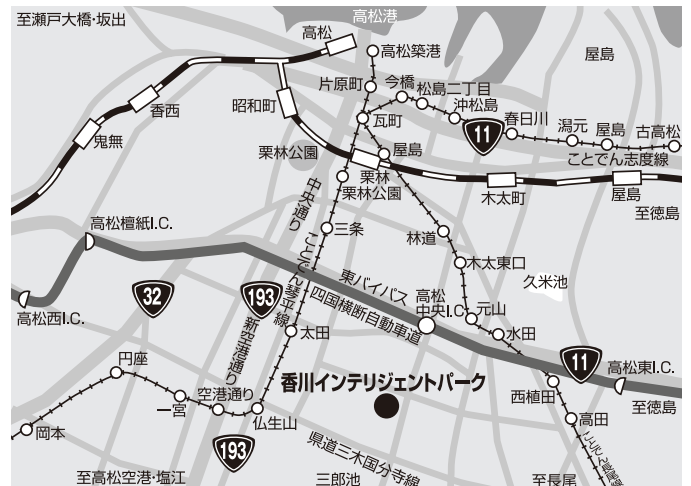
◆【優秀賞】生鮮中心のスーパーマーケット / (株)きむら

新鮮市場きむらの経営の基本は「三方善し」。私たちが成長できたのは、鮮魚や青果を問わず市場の協力があればこそ。丹精を込めて育てたり、苦勞をして捕ってきた物が売れ残れば、生産者の気持ちも萎え市場も活気を失う。だから私たちは全て買い取る。売れると、地域の生産者も市場も元気になる。大量仕入れて安く買える。お客さんにも喜んで頂ける。これからも「三方善し」の経営を基本に、新鮮な、おいしい食材を安く、大量に買える、市場のような活気ある店づくりを目指す。

◆【優秀賞】高松丸亀町商店街A街区第一種市街地再開発事業 / 高松丸亀町壱番街(株)

現在の大量生産・大量消費の時代における、過度のブランディングや価格競争に頼らざるを得ない流通を見直し、生産者と消費者ができるだけ近い距離で双方向のコミュニケーション及び販売を行う環境を作り出す。また、このコミュニケーションから、商品開発、レストラン等の販路拡大、生産者や作物のデータベース化、食育、アグリツアー、大学やNPOとの連携、就農支援まで、総合的プロデュースすることを目的としている。

香川インテリジェントパーク
敷地配置図



公益財団法人 **かがわ産業支援財団**
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階
公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課 (担当:奈良,新川)
TEL:087(868)9901 <http://www.kagawa-isf.jp/>
e-mail:kikaku@kagawa-isf.jp